

ベアードバクの輸送と現在の飼育管理

○庄子 泰之
(横浜市立金沢動物園)

ベアードバクは日本で金沢動物園の1頭(雄, 26歳), 繁殖センターの1頭(雄, 25歳)のみ飼育している(2020年12月31日現在)。どちらも雄のため繁殖は望めない。また繁殖センターは非公開施設のため, 展示されることはない。

今回, 金沢動物園40周年記念動物収集および展示の予備個体として導入することになった。また, 雄同士は同居することはないが, 他個体がいることでよい影響が現れることを期待する動物福祉への配慮を考え移動を計画した。当園では2020年3月17日よりガウル舎で飼育している。その際実施した展示場プールのビオトープ化, 高齢化に伴う飼育環境の変更, トレーニング方法の確立など変更点について紹介する。